

図画工作科学習指導案(本時案) 5 学年
単元名『心のもよう』

平成 30 年 8 月 31 日(金) 第 5 校時
授業会場 5 年西組教室
5 年西組 男子 17 名 女子 14 名 計 31 名
指導教官
授業者

1 本時の位置 (全 4 時間扱い中の第 2 時)

前時： 自分の気持ちを色や形で表現することの楽しさや面白さに気づいた。

次時： 友達の作品を鑑賞し、自分の作品の手がかりにして気持ちを色や形で表現する。

2 本時の主眼

自分の気持ちを色や形で表現することの楽しさや面白さに気づいた子どもたちが、自分の気持ちを表現する場面で、友達の作品の色や形のよさや自分の作品との違いを感じ取り、鑑賞することを通して新たな表現の仕方のおもしろさを感じ自分の作品の手がかりを得ることが出来る。

3 本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導入	1 前時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 私は友達が暗い気持ちをどんな色で表現したか気になるな。 形って難しくてわからないよ。 自分が表したい気持ちの色が分からないよ。 もっといろんな気持ちを表したいな。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが自分の作品だけでなく、友達の作品に注目できるように教師が発問をする。 ○子どもが友達の作品をただ鑑賞するだけにならないように教師が友達の作品の何に注目して鑑賞するかを子どもたちから引き出す。
	2 どうしたら様々な気持ちを表現することが出来るか話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 友達の作品を見てみたらどうかな。 自分の作品と比べてみたいな。 友達は楽しい気持ちをどんな表現してるんだろう。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが学習問題の解決に向けた見通しが立つように、教師が子ども同士での話し合いの場を設ける。 <p>「友達の作品の何に注目して鑑賞したい？」</p>
展開	3 友達の作品を鑑賞して、友達の作品のよさについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○○さんの作品は楽しい気持ちを絵に表したんだね。 あれ？同じ気持ちでも人によって絵や形が違うな？ どうしたら○○くんみたいな色が出るのかな。 こんな表現のしかたもあったんだ。 私もこんな作品を作りたいな。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが作品を鑑賞できるように教師が子どもの作品をプロジェクターに映す。 ○子どもが友達の作品の良さに気づくために教師は気づけるような発問をする。 <p>「自分の作品と比べてみてどうかかな？」 「どんな作品を次描いてみたいかな？」</p> <p>○子どもが他の人の作品を見るときに誰の作品に対していつているのかわかるように教師が作品を黒板に紙で提示する。</p>
	4 自分の作品の制作を始める。	<ul style="list-style-type: none"> ○○さんの作品で手形が押してあったから僕もやってみようかな。 ○○さんが真っ黒な背景に筆をはじいて表現していたから私もやりたい。 悲しい気持ちを表現したいから○○くんみたいに表現してみようかな。 どうやったら○○さんの作品みたいになるのだろう。 ここの部分は、○○さんみたいな色を使ってみようかな。 	20	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが作品の制作に手が止まっているときは教師が机間指導を行う。 <p>「友達の作品を見てやりたいなっていう描き方はなかったかな？」 「この気持ちはどんな色や形で表現できるかな？」</p> <p>評価：新たな表現の仕方のおもしろさを感じ自分の作品の手がかりを得ることが出来る。 ・ワークシート、発言、作品から</p>
末	5 本時の追究を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 次の授業で○○さんみたいな絵を描きたいな 自分でもこんな表現をやってみたいな。 ○○さんと同じ気持ちを描いてみたい。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが鑑賞して、自分の作品にどのように活かしたかを振り返ることができるように、教師が振り返りを行う時間を設ける。